

【平成16年度専修学校先進的教育研究開発事業】

事業名	専修学校における客観的な評価・認定の在り方に関する調査研究とその普及啓発		
法人名	(社)東京都専修学校各種学校協会		
代表者	中込 三郎	担当者・連絡先	有我 明則
			電話番号 03-3378-9601 E-mail a-ariga@nifty.com

<事業の概要>

専修学校に対する客観的な評価および認定のモデル案を構築するために、大学をはじめとした公共性の高い機関および民間企業に関する類似の事例を広く調査を行った。すなわち、大学、医療機関、福祉・介護施設、一般企業の評価を対象としている評価機関を中心として、海外の評価機関にも範囲を拡大した。ここで得られた分析情報から専修学校に相応しい評価・認定モデル案を作成し、広く意見を求め、普及啓発を行うためにシンポジウムを全国で開催し、モデルの洗練化を図った。

<成果>

幅広く類似性の高い評価システムを調査 水平的調査 することによって、客観的な評価および認定のモデル案を構築することができた。同時に行った有識者に対するヒアリングの結果も合わせて、様々な評価機関に関する現状を把握することができた。また、医療機関については、日本医療機能評価機構やISO等の認定を取得している病院への視察およびヒアリング調査を含め、より深い調査 垂直的調査 を実施した。その結果、日本医療機能評価機構の自己評価調査票をベースにした専修学校に対する評価モデル案を構築 モデル化 した。

なお、札幌、福岡、東京、大阪の順で、計4回のシンポジウムを開催 普及・啓発活動 し、全国の専修学校に対する成果の普及啓発を行うことができた。

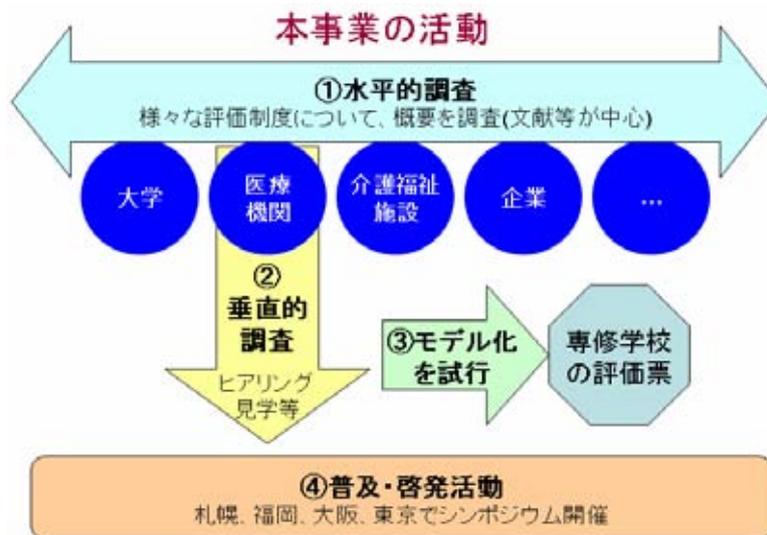


図1. 本事業の活動

【実態調査】

専修学校に対する客観的な評価・認定モデルを構築するために、国内公的機関の状況・海外類似事例・各種評価認定制度などに関して広く最新情報を入手・整理した。

(1) 様々な分野における第三者評価の実態調査（水平的調査）

大学、医療機関、介護・福祉施設、一般企業に対する評価システムについて、幅広くその概要を調査した。具体的な調査対象は、下表の通りである。

表1. 調査対象とした評価機関

大学		大学基準協会、大学評価・学位授与機構、日本技術者教育認定機構、短期大学基準協会
医療機関		日本医療機能評価機構
福祉・介護施設		福祉医療機構、東京都高齢者研究・福祉振興財団
企業一般		格付投資情報センター、東洋経済新報社、ISO9001、OHSAS18001、ISMS、日本経営品質賞
海外の事情	教育機関	QAA【英】: Quality Assurance Agency(高等教育審査機関) HEFCE【英】: THE Higher Education Funding Council for England ABET【米】: Accreditation Board for Engineering and Technology
	医療機関	JCAHO【米】: (Joint Commission Accreditation of Healthcare Organizations)
	その他	MB賞(the Malcolm Baldrige national quality award): 米国経営品質賞

(2) 第三者評価の具体的方法に関する実態調査（垂直的調査）

水平的調査の結果を踏まえて、専修学校の評価システムの構築に際して、医療機関の評価システムの考え方や手法が役立つのではとの認識から、日本医療機能評価機構の評価について具体的な調査を行った。

【モデル化】

日本医療機能評価機構の自己評価調査票の一部を下敷きにした、専修学校の評価モデル(具体的には「調査票」の形)の作成してみた。ここでは、その一部を掲載する。調査票の採点方法は以下の通りである。

中項目は項目番号が例えば「2.3.4」のように3ケタで表記されています。中項目の下に小項目(項目番号が4ケタ)がある場合には、それらの回答を勘案して総合的に中項目を評価してください。

小項目は3段階で評点します。それらは概ね次のような評点結果を表します。a: 適切に行われている / 適切な形で存在する / 積極的に行われている b: 中間 c: 適切さに欠ける / 存在しない / 行われていない

中項目は5段階で評価します。それらは概ね次のような評点結果を表します。5: 極めて適切に行われている / 極めて適切な形で存在する / 極めて積極的に行われている / 他の施設の模範になると自負できる 4: 適切に行われている / 適切な形で存在する / 積極的に行われている 3: 中間 2: 適切さにやや欠ける / 存在するが適切さ

に欠ける / 消極的にしか行われていない1 : 適切でない / 存在しない / 行われていない

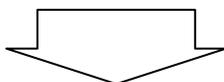
各項目で求めている事項が、貴校の役割や機能から考えた場合に必要ない（当該事項が行われていなくても妥当である）と考えられる場合には、“NA（評価非該当）”を選んでください（NA=NotApplicable）。

日本医療機能評価機構

1.0病院組織の運営と地域における役割

1.1病院の理念と基本方針

1.1.1	理念および基本方針が確立されている		(5・4・3・2・1・NA)
1.1.1.1	理念および基本方針が明文化されている	基本方針・院是の文書の掲示、パンフレットや病院案内などへの記載	(a・b・c・NA)
1.1.1.2	基本方針は地域の医療ニーズを反映している	保健医療や健康に関わる地域の状況の把握、地域のニーズに対応した具体的な方針	(a・b・c・NA)
1.1.1.3	理念または基本方針には、患者の立場に立った医療の実践に関わることがらが文言に表されている	患者の権利を尊重する考え方や方針などが文書などの文言によって確認できる	(a・b・c・NA)
1.1.1.4	基本方針は定期的に見直されている	少なくとも3年ごと、例えば、地域の医療ニーズに変化があった時などの修正	(a・b・c・NA)
1.1.2	理念および基本方針が病院の内外へ周知・徹底されている		(5・4・3・2・1・NA)
1.1.2.1	理念および基本方針を組織内に浸透させる努力と工夫がなされている	理念・基本方針の院内への掲示、文書の配布、職員のネームカードへの印刷	(a・b・c・NA)
1.1.2.2	理念および基本方針を院外に浸透させる努力と工夫がなされている	広報誌・ホームページなどへの掲載	(a・b・c・NA)



専修学校の評価モデル例

1.0学校組織の運営と地域における役割

1.1学校の理念と基本方針

1.1.1	理念および基本方針が確立されている		(5・4・3・2・1・NA)
1.1.1.1	理念および基本方針が明文化されている	建学の理念や教育の基本方針の文書への掲示、パンフレットや学校案内などへの記載	(a・b・c・NA)
1.1.1.2	基本方針が専修学校に対する社会的なニーズを反映している	教育内容等に関わる社会の状況の把握、社会のニーズに対応した具体的な方針	(a・b・c・NA)
1.1.1.3	理念または基本方針には、学生の立場に立った教育の実践に関わることがらが文言に表されている	学生の立場を尊重する考え方や方針などが文書などの文言によって確認できる	(a・b・c・NA)
1.1.1.4	基本方針は定期的に見直されている	少なくとも3年ごと、例えば、社会の教育ニーズや高校での教育課程に変化があった時などの修正	(a・b・c・NA)
1.1.2	理念および基本方針が学校の内外へ周知・徹底されている		(5・4・3・2・1・NA)
1.1.2.1	理念および基本方針を組織内に浸透させる努力と工夫がなされている	理念・基本方針の学校内への掲示、学生や保護者への文書の配布、職員のネームカードや学生証などへの印刷	(a・b・c・NA)
1.1.2.2	理念および基本方針を学校外に浸透させる努力と工夫がなされている	広報誌・ホームページなどへの掲載、オープンキャンパスなど、学校説明会に関する行事における来訪者への明確な説明がある	(a・b・c・NA)

【普及・啓発シンポジウムの開催】

普及啓発シンポジウムを4回開催した。シンポジウムは、当協会が文部科学省より委託された「専修学校を活用した若者の自立・挑戦支援事業 長期デュアルシステム実現に適した産学連携モデル構築のための調査研究」における普及啓発事業と合同で実施した。

表2．第一回シンポジウム・札幌開催

日時	平成16年12月14日(火)
会場	札幌・ホテルノースイン札幌北農健保会館
内容	<p>専門学校の新たな取組み - 私立専門学校の評価システム導入への取組みと情報開示への推進について - 講演者：秋葉 英一(専修学校先進的教育開発事業 実施委員長)</p> <p>第三者評価に対する取組みについて 講演者：遠洞 茂樹(医療法人溪仁会定山溪病院 経営管理部長)</p> <p>若者の自立・挑戦プランとフリーター等の現状 講演者：佐藤 武揚(専修学校を活用した若者の自立・挑戦支援事業 実施委員長)</p> <p>日本版デュアルシステムの現状と問題点 講演者：岡山 保美(厚生労働省日本版デュアルシステム協議会委員)</p>

表3．第二回シンポジウム・福岡開催

日時	平成17年1月17日(月)
会場	福岡・福岡ガーデンパレス
内容	<p>若者の自立・挑戦プランとフリーター等の現状 講演者：佐藤 武揚(専修学校を活用した若者の自立・挑戦支援事業 実施委員長)</p> <p>福岡県におけるデュアルシステムの現状と課題 講演者：江藤 仁章(福岡県中小企業団体中央会 情報調査課長)</p> <p>専門学校の新たな取組み - 私立専門学校の評価システム導入への取組みと情報開示への推進について - 講演者：秋葉 英一(専修学校先進的教育開発事業 実施委員長)</p> <p>ISOシステムを活用した学校運営 講演者：喜多 憲治(富山情報ビジネス専門学校副校長)</p>

表4．第三回シンポジウム・東京開催

日 時	平成17年1月24日(月)
会 場	東京・アルカディア市ヶ谷 私学会館
内 容	<p>専門学校の新たな取組み - 私立専門学校の評価システム導入への取組みと情報開示への推進について - 講演者：秋葉 英一(専修学校先進的教育開発事業 実施委員長)</p> <p>大学評価の現状と課題 講演者：滝 紀子(学校法人河合塾 大学事業本部 評価研究部長)</p> <p>若者の自立・挑戦プランとフリーター等の現状 講演者：佐藤 武揚(専修学校を活用した若者の自立・挑戦支援事業 実施委員長)</p> <p>東京都におけるデュアルシステムの現状と課題 講演者：小林 茂則(東京都中央企業団体中央会 労働課長)</p>

表5．第四回シンポジウム・大阪開催

日 時	平成17年1月31日(月)
会 場	大阪・第二吉本ビルディング会議室
内 容	<p>専門学校の新たな取組み - 私立専門学校の評価システム導入への取組みと情報開示への推進について - 講演者：秋葉 英一(専修学校先進的教育開発事業 実施委員長)</p> <p>大学評価の現状と課題 講演者：滝 紀子(学校法人河合塾 大学事業本部 評価研究部長)</p> <p>若者の自立・挑戦プランとフリーター等の現状 講演者：佐藤 武揚(専修学校を活用した若者の自立・挑戦支援事業 実施委員長)</p> <p>日本版デュアルシステムの現状と問題点 講演者：岡山 保美(厚生労働省日本版デュアルシステム協議会委員)</p>